



平成25年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年4月1日

上場取引所 東

上場会社名 キューピー株式会社

コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 井上 伸雄

TEL 03-3486-3331

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	124,926	4.2	3,902	21.5	4,307	17.6	2,279	32.5
24年11月期第1四半期	119,931	3.7	4,968	19.9	5,224	17.7	3,378	52.9

(注) 包括利益 25年11月期第1四半期 5,071百万円 (5.6%) 24年11月期第1四半期 4,802百万円 (85.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	15.22	
24年11月期第1四半期	22.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第1四半期	300,848	199,133	57.8
24年11月期	306,515	195,928	55.8

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 173,831百万円 24年11月期 170,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期		9.50		10.50	20.00
25年11月期					
25年11月期(予想)		11.00		11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	258,000	3.9	12,000	2.8	12,200	0.7	6,200	13.4	41.41
通期	520,000	3.0	23,500	0.6	23,900	2.3	12,500	1.7	83.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期1Q	153,000,000 株	24年11月期	153,000,000 株
期末自己株式数	25年11月期1Q	3,276,641 株	24年11月期	3,276,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期1Q	149,723,524 株	24年11月期1Q	149,725,870 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4．補足情報	12
(1) 売上高の状況	12
(2) 営業利益の状況	13
(3) 主要な販売費・一般管理費実績	14
(4) 13.11期第1四半期における営業利益の増減要因	14
(5) サラダ調味料の業態別販売量および金額（単体）	14
(6) 海外展開の状況	14
(7) 営業外・特別損益の実績と計画、および12.11期第1四半期対比での主な増減内容	15
(8) 貸借対照表の12.11期対比での主な増減内容	15
(9) キャッシュ・フローの実績、および12.11期第1四半期対比での主な増減内容	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引くデフレの中、所得や雇用環境の厳しさは継続しつつも、政権交代による景気回復への期待感から、円安や株高が進行し輸出企業を中心に業績の改善が見込まれるとともに、個人消費も回復傾向にあります。

食品業界においては、簡便な商品へのニーズが一段と高まる中、中食に加え冷凍食品の需要が増加いたしました。

食品物流業界においては、物流業者間の競争が一段と激化したことによる受託料金の伸び悩みに加え、軽油価格が上昇するなど、厳しい状況となりました。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の状況

平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループ全体で挑戦する風土を醸成し、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長を遂げるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、国内でのイノベーション、海外への本格展開、将来への布石）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

・売上高

サラダ・惣菜事業やファインケミカル事業、共通事業における食品機械の販売などが好調に推移したことにより、1,249億26百万円と前年同期に比べ49億95百万円（4.2%）の増収となりました。

・利益面

鶏卵相場の上昇や天候不順による野菜の生育不良、軽油価格の上昇などの影響を受けるとともに、パッケージサラダの広告宣伝強化などによる費用の増加で、営業利益は39億2百万円と前年同期に比べ10億66百万円（21.5%）の減益となりました。

経常利益は43億7百万円と前年同期に比べ9億17百万円（17.6%）、四半期純利益は22億79百万円と前年同期に比べ10億99百万円（32.5%）の減益となりました。

セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位 百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料	32,805	33,085	+280	0.9%
タマゴ	21,090	21,846	+756	3.6%
サラダ・惣菜	20,919	22,737	+1,818	8.7%
加工食品	13,950	13,784	166	1.2%
ファインケミカル	1,674	2,267	+593	35.4%
物流システム	28,059	28,433	+374	1.3%
共通	1,431	2,770	+1,339	93.6%
合計	119,931	124,926	+4,995	4.2%

[営業利益の内訳]

(単位 百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料	2,301	2,330	+29	1.3%
タマゴ	1,330	647	683	51.4%
サラダ・惣菜	538	398	140	26.0%
加工食品	291	397	106	-
ファインケミカル	193	325	+132	68.4%
物流システム	652	255	397	60.9%
共通	242	343	+101	41.7%
調整額	0	0	0	-
合計	4,968	3,902	1,066	21.5%

調味料

- ・前年2月にハーフをリニューアルした反動でサラダ調味料は減少したが、海外での展開が拡大し増収
- ・海外での増収効果やコストダウンの進展により増益

タマゴ

- ・前年4月の値下げなどの影響も受けたが、中食向けの液卵の伸張に加え、鶏卵相場の上昇も影響し増収
- ・鶏卵相場の上昇や一部商品の値下げによる影響で減益

サラダ・惣菜

- ・需要変化に応じたマーケティング活動の強化などにより、パッケージサラダや惣菜、米飯が伸張し増収
- ・野菜の生育不良による歩留り低下やマーケティング費用の増加により減益

加工食品

- ・パスタソースや流動食などが事業の減収に影響したが、アヲハタ55ジャムや介護食は伸張
- ・売上高の減少により減益となったが、収益基盤の再構築に向けた取組みに着手

ファインケミカル

- ・医薬用のヒアルロン酸やE P Aが伸張し増収増益

物流システム

- ・専用物流などの新規獲得が進み増収
- ・既存取引の減少や燃料単価の上昇などにより減益

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売により増収増益

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,008億48百万円と前連結会計年度末に比べ56億67百万円減少
主に「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」の減少、「建設仮勘定」、「投資有価証券」の増加による
- ・負債は、1,017億14百万円と前連結会計年度末に比べ88億73百万円減少
主に「未払法人税等」、「その他」（設備未払金）、「その他」（未払費用）の減少、「引当金」の増加による
- ・純資産は、1,991億33百万円と前連結会計年度末に比べ32億5百万円増加
主に「利益剰余金」、「その他有価証券評価差額金」、「為替換算調整勘定」の増加による

キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、319億44百万円と前連結会計年度末に比べ84億42百万円減少

各キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、売上債権、その他（未払費用）の減少、引当金、たな卸資産の増加、法人税等の支払いなどにより12億47百万円の支出（前年同期は43億26百万円の収入）
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより82億68百万円の支出（前年同期は23億28百万円の支出）
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加、配当金の支払いなどにより8億16百万円の収入（前年同期は93億18百万円の収入）

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、為替の急激な変動などによる主原料コストの上昇など、当社グループにとって予断を許さない環境が続くものと思われま

す。当社グループは、平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画の初年度にあたり、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長をめざして、「国内でのイノベーション」と「海外への本格展開」を着実に進めてまいります。

国内においては、マヨネーズの万能調味料化や卓上化を進めるとともに、最適な生産体制の構築による効率化や増産への対応を進め、基幹領域を深耕してまいります。また、スーパーマーケットのチルド売場やネット販売、宅配ルートなど、新たな販路への展開に挑戦してまいります。

また、海外においては、中国や東南アジアの生産および営業の拠点を活用し、エリア特性に応じた展開によるアジアのマヨネーズ市場の拡大や、グループ資源の活用による世界的な外食チェーンとの取組みなど、アジアでの本格展開を進めてまいります。

なお、本年1月10日に公表しました平成25年11月期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,394	24,944
受取手形及び売掛金	66,684	62,923
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	11,553	12,652
仕掛品	1,163	767
原材料及び貯蔵品	5,190	5,720
その他	5,184	5,689
貸倒引当金	152	164
流動資産合計	133,018	122,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	130,277	130,401
減価償却累計額	81,977	82,234
建物及び構築物（純額）	48,300	48,166
機械装置及び運搬具	129,574	130,891
減価償却累計額	106,641	108,134
機械装置及び運搬具（純額）	22,933	22,757
土地	42,129	42,736
建設仮勘定	5,864	8,038
その他	14,883	15,163
減価償却累計額	9,533	9,948
その他（純額）	5,349	5,215
有形固定資産合計	124,577	126,914
無形固定資産	2,405	2,627
投資その他の資産		
投資有価証券	20,051	22,396
前払年金費用	15,951	15,881
その他	11,091	11,074
貸倒引当金	580	579
投資その他の資産合計	46,514	48,772
固定資産合計	173,496	178,314
資産合計	306,515	300,848

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,715	40,775
短期借入金	8,197	9,776
未払法人税等	6,692	2,049
引当金	2,130	4,714
その他	27,146	17,848
流動負債合計	85,882	75,164
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	799	2,184
引当金	2,595	2,643
資産除去債務	342	337
その他	10,968	11,384
固定負債合計	24,705	26,550
負債合計	110,587	101,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,434	29,434
利益剰余金	123,143	123,850
自己株式	3,389	3,389
株主資本合計	173,292	173,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,646	4,031
繰延ヘッジ損益	7	6
為替換算調整勘定	5,009	4,205
その他の包括利益累計額合計	2,355	167
少数株主持分	24,991	25,302
純資産合計	195,928	199,133
負債純資産合計	306,515	300,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	119,931	124,926
売上原価	90,768	96,279
売上総利益	29,162	28,646
販売費及び一般管理費	24,194	24,744
営業利益	4,968	3,902
営業外収益		
受取利息	43	36
受取配当金	103	99
持分法による投資利益	45	62
為替差益	25	98
その他	166	193
営業外収益合計	385	491
営業外費用		
支払利息	38	60
社債発行費	52	-
その他	37	26
営業外費用合計	128	86
経常利益	5,224	4,307
特別利益		
固定資産売却益	14	18
受取保険金	324	-
受取補償金	146	-
その他	46	0
特別利益合計	531	18
特別損失		
固定資産除却損	141	121
その他	0	25
特別損失合計	142	146
税金等調整前四半期純利益	5,614	4,179
法人税等	1,661	1,568
少数株主損益調整前四半期純利益	3,952	2,611
少数株主利益	574	332
四半期純利益	3,378	2,279

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,952	2,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	741	1,443
繰延ヘッジ損益	9	9
為替換算調整勘定	97	1,022
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	849	2,459
四半期包括利益	4,802	5,071
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,177	4,467
少数株主に係る四半期包括利益	625	604

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,614	4,179
減価償却費	3,201	3,312
持分法による投資損益（は益）	45	62
投資有価証券評価損益（は益）	-	6
引当金の増減額（は減少）	2,564	2,579
前払年金費用の増減額（は増加）	338	69
受取利息及び受取配当金	147	136
支払利息	38	60
固定資産除売却損益（は益）	127	102
売上債権の増減額（は増加）	3,435	4,119
たな卸資産の増減額（は増加）	713	1,011
仕入債務の増減額（は減少）	178	1,006
その他	6,948	6,847
小計	7,287	5,366
利息及び配当金の受取額	181	165
利息の支払額	33	75
法人税等の支払額	3,109	6,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,326	1,247
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,180	7,498
無形固定資産の取得による支出	50	380
投資有価証券の取得による支出	109	206
投資有価証券の償還による収入	1,000	-
貸付けによる支出	15	31
貸付金の回収による収入	193	46
その他	165	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,328	8,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	778	1,954
長期借入れによる収入	500	1,600
長期借入金の返済による支出	122	620
社債の発行による収入	9,947	-
配当金の支払額	1,347	1,572
少数株主への配当金の支払額	236	287
自己株式の取得による支出	0	0
その他	200	258
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,318	816
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	257
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	11,347	8,442
現金及び現金同等物の期首残高	24,509	40,387
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,856	31,944

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自平成23年12月1日至平成24年2月29日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
売上高										
外部顧客への売上高	32,805	21,090	20,919	13,950	1,674	28,059	1,431	119,931	-	119,931
セグメント間の内部売上高又は振替高	807	1,235	79	407	107	5,665	2,264	10,566	10,566	-
計	33,612	22,325	20,998	14,357	1,782	33,724	3,696	130,498	10,566	119,931
セグメント利益又は損失（ ）	2,301	1,330	538	291	193	652	242	4,967	0	4,968

(注)セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年12月1日至平成25年2月28日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
売上高										
外部顧客への売上高	33,085	21,846	22,737	13,784	2,267	28,433	2,770	124,926	-	124,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	841	1,402	77	439	87	5,624	2,210	10,682	10,682	-
計	33,927	23,249	22,814	14,224	2,354	34,057	4,980	135,609	10,682	124,926
セグメント利益又は損失（ ）	2,330	647	398	397	325	255	343	3,902	0	3,902

(注)セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業運営の加速と収益性の向上を図ることを目的とした事業区分の変更に伴い、報告セグメントを以下のとおり変更しております。

- ・「調味料・加工食品」を「調味料」と「加工食品」に分割
- ・「健康機能」のヘルスケア部門を「加工食品」に移管
- ・「健康機能」のファインケミカル部門は「ファインケミカル」として独立
- ・他、一部商品群が「健康機能」から「調味料」に、「サラダ・惣菜」から「加工食品」に移管

また、当第1四半期連結会計期間より、社内の管理体制の変更に対応し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。主な変更点は、「調整額」に表示されていた当社の管理部門および連結子会社であるケイ・システム㈱と㈱キユーピーあいに係る費用等について、売上高を用いて各報告セグメントへ配賦を行っている点等であります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、端数が発生する場合があります。
 2. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。
 3. 13.11期より事業区分を次のように変更いたしました。旧調味料・加工食品事業は、調味料事業と加工食品事業に分割し、旧健康機能事業は、ファインケミカル部門が事業として独立し、ヘルスケア部門を加工食品事業に移管しております。新事業区分の12.11期の数値は、上記の変更にあわせて組み直して表示しています。

(1) 売上高の状況

(億円)

旧事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
11.11期	調味料・加工食品	412	445	857	445	1,302	433	1,735
	健康機能	42	50	92	43	135	50	185
	タマゴ	210	221	431	210	641	216	857
	サラダ・惣菜	194	208	402	232	634	224	858
	共通	14	15	29	14	43	15	58
	物流システム	284	292	576	300	876	295	1,171
	合計	1,157	1,230	2,387	1,245	3,632	1,232	4,864
12.11期	調味料・加工食品	430	470	900	471	1,371	443	1,814
	健康機能	40	45	85	48	133	51	184
	タマゴ	211	217	428	207	635	221	856
	サラダ・惣菜	224	248	472	261	733	244	977
	共通	14	16	30	14	44	18	62
	物流システム	281	288	569	294	863	294	1,157
	合計	1,199	1,285	2,484	1,295	3,779	1,271	5,050

新事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
12.11期	調味料	328	357	685	365	1,049	336	1,386
	タマゴ	211	217	428	207	635	221	856
	サラダ・惣菜	209	232	441	246	687	228	916
	加工食品	140	156	296	147	443	148	591
	ファインケミカル	17	19	36	23	58	25	83
	物流システム	281	288	569	294	863	294	1,157
	共通	14	16	30	14	44	18	62
	合計	1,199	1,285	2,484	1,295	3,779	1,271	5,050
13.11期	調味料	331						1,450
	タマゴ	218						870
	サラダ・惣菜	227						930
	加工食品	138						620
	ファインケミカル	23						100
	物流システム	284						1,160
	共通	28						70
	合計	1,249						5,200
前年差	調味料	3						64
	タマゴ	8						14
	サラダ・惣菜	18						14
	加工食品	2						29
	ファインケミカル	6						17
	物流システム	4						3
	共通	13						8
	合計	50						150

13.11期通期は、2013年1月10日発表の計画数値を表示しております。

第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出してあります。

(2) 営業利益の状況

(億円)

旧事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
11.11期	調味料・加工食品	34	38	72	40	112	32	144
	健康機能	2	7	9	2	11	4	15
	タマゴ	7	6	13	13	26	12	38
	サラダ・惣菜	2	5	7	9	16	6	22
	共通	3	1	4	1	5	2	7
	物流システム	4	10	14	10	24	6	30
	調整額(全社費用・消去)	11	13	24	13	37	11	48
	合計	41	53	94	64	158	50	208
12.11期	調味料・加工食品	31	41	72	48	120	30	150
	健康機能	1	2	3	3	6	2	8
	タマゴ	15	16	31	14	45	12	57
	サラダ・惣菜	5	9	14	11	25	6	31
	共通	3	2	5	2	7	1	8
	物流システム	6	10	16	11	27	5	32
	調整額(全社費用・消去)	12	13	25	13	38	14	52
	合計	50	67	117	75	192	42	234
新事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
12.11期	調味料	23	31	54	38	93	22	115
	タマゴ	13	14	27	12	40	9	49
	サラダ・惣菜	5	9	15	11	25	6	31
	加工食品	3	1	4	2	6	5	10
	ファインケミカル	2	2	4	3	6	3	10
	物流システム	7	10	16	11	28	5	32
	共通	2	2	5	2	7	1	8
	合計	50	67	117	75	192	42	234
13.11期	調味料	23						115
	タマゴ	6						43
	サラダ・惣菜	4						31
	加工食品	4						5
	ファインケミカル	3						13
	物流システム	3						31
	共通	3						7
	合計	39						235
前年差	調味料	0						0
	タマゴ	7						6
	サラダ・惣菜	1						0
	加工食品	1						5
	ファインケミカル	1						3
	物流システム	4						1
	共通	1						1
	合計	11						1

13.11期通期は、2013年1月10日発表の計画数値を表示しております。

第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

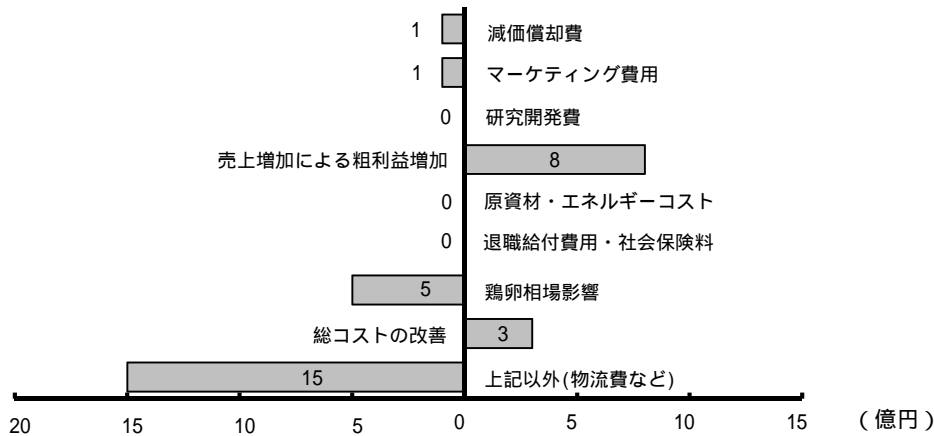
旧事業区分の「調整額」は、新事業区分では各事業の費用として組み込んでおります。

（3）主要な販売費・一般管理費実績

（億円）

	11.11期 第1四半期	12.11期 第1四半期(A)	13.11期 第1四半期(B)	前年差(B - A)
販売促進費	44	45	46	1
広告宣伝費	19	20	20	0
物流費	65	68	71	3
労務費	58	60	61	1
研究開発費	7	7	7	0

（4）13.11期第1四半期での営業利益の増減要因



（5）サラダ調味料の業態別販売量および金額（単体）

		11.11期 第1四半期	12.11期 第1四半期(A)	13.11期 第1四半期(B)	前年差(B - A)
家庭用	販売量(千t)	29	31	30	1
	金額(億円)	168	177	172	5
業務用	販売量(千t)	23	25	25	0
	金額(億円)	87	93	94	1

13.11期の商品カテゴリーの整理に伴い、12.11期実績を補正しております。

（6）海外展開の状況

（億円）

	11.11期 第1四半期	12.11期 第1四半期(A)	13.11期 第1四半期(B)	前年差(B - A)
海外 売上高	39	45	53	8
中国	9	13	16	3
東南アジア	7	8	11	3
北米	18	20	21	1
日本からの輸出等	5	4	4	1
海外 営業利益	1	2	2	1

海外子会社（中国、東南アジア、北米）の第1四半期の数値は、10月から12月を対象としています。

（7）営業外・特別損益の実績と計画、および12.11期第1四半期対比での主な増減内容

（億円）

	12.11期 第1四半期	13.11期 第1四半期	増減内容（第1四半期対比）	12.11期	13.11期計画
営業外損益	3	4	為替差益の増加 +1 社債発行費の減少 +1	11	4
特別損益	4	1	受取保険金、補償金発生益の減少 5	11	15

（8）貸借対照表の12.11期対比での主な増減内容

（億円）

	12.11期	13.11期 第1四半期	増減	増減内容（12.11期対比）
（資産の部）				
流動資産	1,330	1,225	105	現預金の減少 85 売掛債権の減少 38
固定資産				
有形・無形固定資産	1,270	1,295	26	取得による増加 +53 減価償却による減少 33
投資その他の資産	465	488	23	投資有価証券の増加 +23
（負債の部）				
	1,106	1,017	89	未払法人税等の減少 46 引当金の増加 +26 設備未払金の減少 26 未払費用の減少 62
（純資産の部）				
	1,959	1,991	32	利益剰余金の増加 +7 その他有価証券評価差額金の増加 +14 為替換算調整勘定の増加 +8

（9）キャッシュ・フローの実績、および12.11期第1四半期対比での主な増減内容

（億円）

	12.11期 第1四半期	13.11期 第1四半期	増減内容（第1四半期対比）	12.11期
営業活動による キャッシュ・フロー	43	12	税金等調整前四半期純利益の減少 14 法人税等支払額の増加 36	332
投資活動による キャッシュ・フロー	23	83	有形固定資産、無形固定資産取得の増加 46 投資有価証券償還による収入の減少 10	244
財務活動による キャッシュ・フロー	93	8	社債発行による収入の減少 99 借入金増加 +18	70